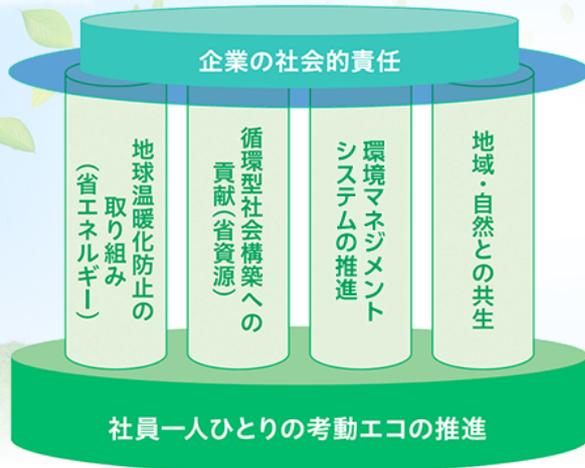


地球環境問題に対する基本的な考え方



JR西日本は、
グループ会社と一体となって
地球環境保護に取り組み、
持続的発展が可能な
社会の実現に貢献します。

行動指針

- I. 私たちは、地球環境にやさしい企業グループを目指し、資源の適正かつ有効な活用を図ります。
- II. 私たちは、地球環境保護のために、技術開発や創意工夫に努めます。
- III. 私たちは、常に地球環境保護を意識して行動します。

生物多様性保全の取り組み

- I. 事業活動で生態系への影響を低減する取り組み
- II. 生物（植物）の潜在能力との協働

SDGsへの関心が高まり、企業の事業環境が大きく変化する中で、エネルギー、資源、生物多様性など地球環境保全にかかわる課題に対して、企業の主体的な取り組みが求められています。今後、2025年大阪・関西万博を契機に、関西エリアを中心とした環境先進志向と、企業の環境対応への要請が一層高まることも想定されます。その中で、2050年の脱炭素社会の実現に向けた動きが活発になっています。JR西日本グループにおいても、近年の地球温暖化に起因して激甚化する自然災害をはじめとする気候変動への対応は、グループ全体で取り組みを進めなければならない重要課題であると認識しています。

当社はこれまで、鉄道車両をはじめ駅設備などのさらなる省エネルギー化や列車運行時の省エネルギー運転の推進に取り組んでまいりました。鉄道は、その特性が発揮できる都市圏及び都市間輸送において、地球環境にやさしい輸送機関であり、より利便性を向上することで鉄道を含む公共交通機関全体としてグリーンでスマートな交通を目指しています。これまで以上に鉄道を選択いただくことにより運輸部門全体のCO₂排出量の削減に貢献したいと考えています。また、循環型社会の構築に向け、従来のリサイクルを中心とした取り組みに加え、食品ロス削減などごみを減らす取り組みを進めています。さらに、事業活動による自然や生態系への影響の抑制に努めるなど、環境目標達成に向け、引き続き取り組みを進めています。今回、当社グループは、環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」を策定しました。2050年にCO₂排出量「実質ゼロ」に向けて「新技術による鉄道のイノベーション」、「省エネルギーのさらなる推進」、そして「地域との連携による脱炭素社会の実現への貢献」に着実に取り組んでまいります。あわせて、TCFD提言に賛同し、情報開示を行うこととしました。気候変動が当社事業に及ぼすリスクや機会に適切に対応していきます。

コロナ禍を経て、新常态への変容が進みつつあります。次なる30年に起こり得る事業環境の変化を見据え、JR西日本グループ全体で、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

推進責任者
執行役員
鉄道本部
イノベーション本部長
久保田 修司

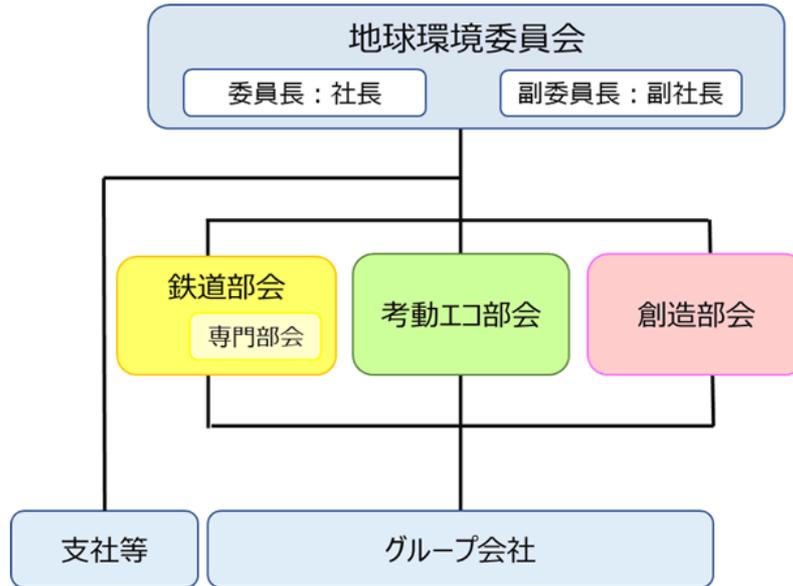


地球環境保護活動の推進体制

JR西日本グループが、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、長期にわたり持続的に発展するために、地球環境保全に係る取り組みを推進することを目的に、本社に社長を委員長とした「地球環境委員会」を設置しています。代表取締役、業務執行取締役、本社内執行役員等の委員とオブザーバーである常勤監査役が出席し、地球環境保全に関する基本方針や中長期の計画及び目標等の審議をしています。

また、地球環境委員会の活動の着実な推進を図るため、「鉄道部会」（鉄道事業部門）、「創造部会」（ホテルや物販飲食等の創造事業部門）、「考動エコ部会」（JR西日本グループ全体）の3つの部会を設置しています。

支社等にも、支社長等を委員長とする「支社等地球環境委員会」を設置し、お客様に一番近い現場での環境マネジメントシステムの推進に重点を置き、取り組みを進めています。



委員会および部会	具体的な取り組み内容
地球環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題に対する会社方針の審議 (事務局：全社的取組計画の策定・推進,教育・指導)
鉄道部会	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道部門における取り組みの推進 鉄道系グループ会社の取り組みを推進 支社等地球環境委員会の支援
省エネルギー専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 列車運転用エネルギーの削減 オフィス等の消費電力の削減 駅・ビル等の設備電力の削減
駅ごみ・列車ごみ専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 駅ごみ,列車ごみの削減とリサイクル率向上 駅,列車で販売する容器,内容の見直し,推進 定期券,切符類のリサイクル
鉄道資材リデュース・リユース・リサイクル専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道資材のリサイクル率向上 各種製品のリデュース・リユース・リサイクルの推進
特定化学物質専門部会	<ul style="list-style-type: none"> 有害物質使用量削減 特定化学物質の移動排出量の届出 PCBの適正保管と特措法に基づいた届出および適正処理
考動エコ部会	<ul style="list-style-type: none"> 社員が自ら考え,自ら具体的な省エネ,省資源の実践行動を展開する「考動エコ」の全社的な取り組みの推進 各部会等との連携した取り組みの推進 鉄道部会及び創造部会に主管部を持たないグループ会社の取り組みを推進
創造部会	<ul style="list-style-type: none"> 創造部門における取り組みの推進 創造系グループ会社の取り組みを推進